



学校だより

川越市立山田中学校

令和6年1月9日 発行

学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

冬に鍛える

校長 守岡 信一

3学期も山中生の素敵な笑顔がたくさん輝く学期にしたいですね。日々の生活、行事、部活動などでこれまでに蓄えた力を発揮してください。山中生ならみんなで力を合わせ、最後までやり抜いてくれると信じています。保護者・地域の皆様には引き続き、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。始業式では、生徒達に次のような話をしました。

まずは、大きな事故も無く3学期を迎えることができ、本当に良かったと思います。下旬には「寒さが最も厳しい頃」（大寒：1/20）を迎えます。

寒くなると野菜や果物がとてもおいしくなると言われます。これは自然環境が厳しいほど、生き残るために養分を蓄えようとするからだそうです。毎回、始業式では各学年の代表者が新学期の抱負を語ってくれます。叶えたい夢や希望についても、厳しい環境があればあるほど、実現したときの達成感は大きなものになります。人も先ほどの野菜の話と同じように、厳しい環境にあるほど、魅力的に成長できるのではないかと思います。冬は自分を鍛えるチャンスです。

私の例で恐縮ですがお話しします。私の中学生の頃は、ラジオを聴きながら夜遅くまで勉強する「ながら勉強」という方法が流行していました。（スマホは発明されていません…。）定期テストの朝は睡眠不足でぼうっとするし、やっぱり体調もすっきりしません。長い時間勉強しているという自己満足感はあるけど、あまり良い方法ではなかったと思います。そこで、高校では朝型に切り替えました。自分で作ったノートを電車内で確認しながら早めの登校、登校後1時間程度の朝学習という生活習慣です。基本の就寝時間を変えないようにして、授業に集中できる環境をつくり、できるだけ授業中に覚えてしまうように心がけました。

「心が変われば行動が変わり、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変わると人生が変わる」と言われます。私だけではなく、保護者、家族、地域の方、先生方もそれぞれの環境で、たくさんの工夫と努力をされています。そこから学ばせていただくことも、皆さんにとって良い方法です。謙虚に話を聞けば、自分のために惜しみなく時間を使ってくれる方々が皆さんの周りにはたくさんいます。クラスの仲間も良いですね。ぜひ、周りの人の力も借りてください。

2学期の終業式でも「1月と2月は1年のうちで最も勉強をする時期にしてほしい」という話をしました。寒い日が続きますが、体調に気をつけながら目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。冬は星がとても綺麗に見えます。たまには星空を眺めてみるのもいいですね。皆さんの可能性は無限大、悔いなくやりきろう！